

認証評価機関が行う自己点検・評価に対するコメントについて

令和6年度に自己点検・評価を行った認証評価機関8機関について、令和6年9月末に提出された報告書を確認し、優れている点、更なる充実又は改善を期待する点と認められるものについて、以下のとおりコメントする。

各認証評価機関においては、引き続き法令に適合した公正かつ適確な認証評価の実施に取り組むことはもとより、この度付されたコメントを踏まえ、認証評価の更なる充実等に一層努めることを期待する。

なお、今般実施した自己点検・評価に係る報告書については、遺漏なく公表すること。

【公益財団法人日弁連法務研究財団】

＜優れている点＞

- ・評価を受審した専門職大学院及び評価者に対するアンケートを実施し、当該アンケートの結果に基づき、それまでの評価に係る改善状況を確認するとともに、評価基準の見直しや評価に係る負担軽減を図るなど、評価の質の維持・向上に係る取組が継続的に実施されていることは優れている。
- ・法律専門職責任としての「2つのマインド」、法律専門職能力としての「7つのスキル」を備えた法曹を養成する教育が行われているかの評価に当たり、法科大学院の教員や学生との対話を重視するなど、現地調査での意見交換を充実させていることは評価できる。
- ・令和3年4月以降の評価より、評価を受審した専門職大学院の内部質保証の仕組みが一定程度機能し、教育の質が一定程度担保されていると認めた専門職大学院について、特色を重視した評価を行う運用を開始するなど、評価対象となる専門職大学院における特色ある教育研究の進展に資する評価の充実に取り組んでいることは評価できる。
- ・法曹関係者以外の多様な分野の有識者を評価員としていることに加えて、そのジェンダーバランスに係る課題に対して速やかな対策を講じるなど、継続的に評価体制の充実に努めていることは評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・アンケートに基づく改善活動の更なる充実に向けて、評価員を対象としたアンケートの回収率向上に向けた取組を一層推進することが期待される。
- ・自己点検・評価報告書のウェブページでの公表に当たっては、閲覧者がよりアクセスしやすい形で公表することが期待される。

【一般社団法人 ABEST21 International】

＜優れている点＞

- ・認証評価に用いる評価基準を準用して、日本のみならず、海外6か国（インドネシア、マレーシア、タイ、シンガポール、中国、ロシア）のビジネススクールを対象にした評価を実施しているほか、海外のビジネススクールの評価に係る調査研究や、海外認証評価機関との情報交換を目的とした互惠協定を締結するなど、国際的な事業展開を行っており、評価を受審した専門職大学院の教育研究活動に対する国際通用性のある質保証につながる取組として評価できる。
- ・ABEST21 認証評価視点及び認証評価基準等の周知徹底、「書面審査(Desk Review)」と「実地審査(Peer Review Visit)」等に係るセミナーを毎年定期的に開催するなど、専門審査小委員会(Peer Review Team)の審査員の質維持向上を図るための取組を推進していることは優れている。
- ・自己評価に当たり、当該分野におけるグローバルな教育研究環境の形成の必要性等に係る環境分析を適切に行っていることは優れている。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・セキュリティ上の理由から評価基準の全文が一般に公表されていないが、評価基準の公表は、評価を受審した専門職大学院が社会的評価を受けるという認証評価制度の目的の達成に資するものであることから、適切なセキュリティ対策等を講じた上で広く一般に公開することを期待する。
- ・現状の課題に対するより精緻な分析等を行うとともに、その分析等に基づく具体的な改善方策等を検討し実行するなど、自己点検・評価結果に基づく改善活動の一層の充実が期待される。

【特定非営利活動法人国際会計教育協会会計大学院評価機構】

＜優れている点＞

- ・評価員の経験に応じて様々な方法により研修を実施し、評価員の質の担保に引き続き努めていることは評価できる。
- ・会計プロフェッション教育のグローバルスタンダードである国際会計士連盟(IFAC)の国際教育基準(IES)を参照するなどした評価基準を定め、これに基づき認証評価を行っていることは、評価を受審した専門職大学院の教育研究活動に対する国際通用性のある質保証につながる取組として評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・評価基準や評価体制、評価方法等の見直しについて、自己点検・評価の結果に基づき、認証評価の1サイクルの開始時や関係法令等の改正時のみならず、評価対象となる分野に係る社会的ニーズ等に応じて適切な見直し等を行うなど、時宜に応じた認証評価を実現するための組織的な対応が期待される。
- ・自己点検・評価報告書の内容のほとんどが、前回の自己点検・評価報告書(2019年度)と同様の記載となっている。特に「今後の充実・改善方策」とされていた点がほぼ同一の記載となっているため、前回の自己点検・評価時から当該方策に積極的に取り組んでいるかが判然とせず、自己点検・評価が形骸化しているように見受けられ、有効に機能しているとは判断できない。このため、自己点検・評価で認識した課題等への取組状況や当該取組により改善された点及び残された課題等を分析し、公正かつ適確な認証評価の実施に今後一層努めること。

【一般財団法人日本助産評価機構】

＜優れている点＞

- ・次の評価までの間、評価を受審した専門職大学に対して年次報告書の提出を毎年度求め、当該報告書に基づき、指摘事項に係る改善状況についてフォローアップを行っていることに加えて、評価を受審した翌年度にはオンラインによる面談調査を実施するなど、評価実施後も引き続き教育の質の向上が図られるよう丁寧なフォローアップを行っていることは優れている。
- ・認証評価のみならず、助産教育機関や実践施設としての助産所の第三評価を実施するなど、当該分野の特性等を踏まえた多様な評価の相乗効果により、高質かつ細やかな評価の実施が行われていることは評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・異議審査委員会の委員構成について、その公正性や公平性を担保するため、役員や評価委員等との兼務に一定の制限を設けるなど、適切な方策を講じるとともに、その事実を評価対象専門職大学院等が認知できるよう明確にすることが望ましい。
- ・将来にわたる質の高い評価員の確保に向けて、安定的な研修の実施と研修内容の一層の充実等を期待する。

【公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会】

＜優れている点＞

- ・評価基準細目を「必達基準（レベル1）」と「目標基準（レベル2）」に区分し、単に評価基準の適合状況进行评估するのみならず、評価対象の専門職大学院に対して、その特色を踏まえた上で教育研究の水準の更なる向上に資する取組を促していることは評価できる。
- ・定例の研修に加えて、臨床心理士養成指定大学院の書類審査や実地視察の際に、経験のある審査委員と新任の審査委員とが協働する評価体制を構築することで、評価に係る基本的な姿勢や技能の伝承を図っており、結果として認証評価における評価員の資質向上に寄与していると見受けられることは評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・ウェブページにおいて認証評価結果を公表しているが、その閲覧に当たってはタブの切替えを要するなど、公表ページがやや分かりにくい構造となっているため、評価を受審した専門職大学院が社会的評価を受けるといふ認証評価制度の目的の達成に資するよう、より閲覧しやすい形で公表することが期待される。

【一般社団法人日本技術者教育認定機構】

＜優れている点＞

- ・評価結果について、「S（優良）」から「D（欠陥）」までの段階的評定を付すことにより、評価を受審した専門職大学のみならず、社会一般からも認知されやすくなる工夫を施していることは評価できる。また、「W（弱点）」と判定された項目について、評価対象の専門職大学院に対して「改善報告書」の提出を求め、その改善状況に係るフォローアップを確実に行的っており、第1期から第2期にかけての「W（弱点）」と判定された項目数の減少傾向を第3期においても継続していることは、評価対象の専門職大学院における教育研究の水準の更なる向上に資する取組として優れている。
- ・高等教育の質保証や評価に関わる国際的な協定等に加盟し、国際会議への参加や海外の高等教育の質保証に係る現状把握等を通じて、引き続き認証評価の国際通用性を高める取組を継続していることは優れている。
- ・自己点検・評価に当たり、単に課題を抽出するのみならず、各課題への対応状況の分析やその方向性等を併せて明示していることは優れている。特に、財務状況に係る客観的な分析が行われていることは、安定した評価事業に資するものとして評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・大学評価基準の変更に当たって、基準専門委員会にてパブリックコメントの必要性を判断しているが、その判断基準等が判然としないため、あらかじめパブリックコメントの必要性に係る判断基準等を明らかにした上で、大学評価基準の変更に係る過程の公正性及び透明性を一層確保することが期待される。

【一般財団法人教員養成評価機構】

＜優れている点＞

- ・評価の質の維持・向上のため、評価員に対して事例課題を用いた実践的な研修を行っていることは優れている。
- ・訪問調査による現地確認の重要性に鑑み、コロナ禍においても、訪問する評価者を半減させつつ、現地とオンラインによるハイブリッドでの調査を行うなど、評価の質を担保するための柔軟な対応に努めたことは評価できる。
- ・教育活動を推進する規程等の策定・設置、実施体制等を確認する段階から、具体の取組、改善等が機能しているかを確認する方向への移行を図るとともに、機関別認証評価の項目との棲み分けを図り、分野別認証評価ならではの評価の実施を目指し、評価項目の重点化や基準領域・基準・観点の整理を行っていることは評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・自己点検・評価の結果から評価を受審した教職大学院及び評価者に対するアンケート調査の結果をどのように活用して評価方法等の改善を図っているのかが判然としなかったため、アンケート調査の結果を踏まえた改善活動の更なる推進に加えて、当該活動の有効性の検証等に係る自己点検・評価を適切に行うことが期待される。

【公益社団法人日本造園学会】

＜優れている点＞

- ・評価結果について、「A（よく実施できている）」から「D（実施できていない（最低限必要な水準を満たしていない））」までの段階的評定を付すことにより、評価を受審した専門職大学のみならず、社会一般からも認知されやすくなる工夫を施していることは評価できる。
- ・自己点検・評価に当たり、単に課題を抽出するのみならず、各課題に対する改善の方向性等を併せて明示していることは優れている。特に、評価基準に係る解釈指針や改善報告書の運用に係る基準等の見直しなど、課題に対する不断の改善活動を推進し、公正かつ適確な認証評価の実施に努めていることは評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・将来にわたる認証評価の安定的な実施に向けて、評価実施年度に偏りがあっても評価の質を維持することはもとより、その向上に係る取組の更なる充実が期待される。

令和6年12月25日

中央教育審議会大学分科会
認証評価機関の認証に関する審査委員会